



図-6.1.1(6) 年次毎の排水計画 (その3)

表-6.1.1(7) 流出係数条件一覧

状況	地質・地表の状況	流出係数	適用	
現況	難透水域 (トムル層(軟岩層))	0.7	検証結果からの係数(0.5)をカバーし、また軟岩(0.5~0.75)の平均値程度である、赤土等の対策指針の設計値を適用。	
	浸透域	0.1	検証結果(0に近似)及び土地利用状況(畑・草地)を踏まえ、計画地の地形勾配も考慮し、勾配7%以下の砂質土の芝生地(0.05~0.15)の平均値を適用。	
工事中	切土面	難透水域	0.8	のり面の軟岩(0.5~0.75)を参考にし、工事中の締め固めを考慮し、最大値を適用。
		浸透域	0.3	のり面の粗粒土(0.1~0.3)を参考にし、工事中の締め固めを考慮し、最大値を適用。
	盛土面	難透水域	0.9	工事中の締め固めを考慮し、他空港の粘性土の盛土法面の係数(0.5~0.9)の最大値を適用。